

令和2年12月8日開催 令和2年第4回箕面市議会定例会総務常任委員会での質疑応答

NO	質問事項	回答
1	大阪大学箕面キャンパス跡地の検討状況を教えてください。	地域の活性化につながる活用策について、あらゆる可能性と選択肢を排除せず幅広く検討しており、令和2年度内には事業者等から提案を求める公募手続きを開始していきたいと考えています。

令和2年12月21日、22日開催 令和2年第4回箕面市議会定例会本会議（第2日、3日）での質疑応答

NO	質問事項	回答
1	必要性が薄れた市有地の売却を進めて市税収入など財源確保を図るべきと考える。	市有財産の活用は地域の活性化やにぎわいの創出に寄与することから、すべての普通財産として保有している土地について、1件1件、活用の可能性を検討しているところです。なお、検討に当たっては、貸付のみではなく、計画的に売却していくことも念頭に置きながら、財源確保の観点も踏まえて早期に活用の方向性を出していきたいと考えています。
2	本庁駐車場についても、周辺コインパーキングへの民業圧迫を回避し、有料化等で歳入確保を図るべきと考える。	現在、新改革プランにおいて「施設の再配置構想」の検討に着手しており、グリーンホール跡地への健康福祉部等の移転に伴い、駐車場の再配置や集約化が必要となると想定しています。そのため、施設再配置の内容、時期を見極めつつ、費用対効果をしっかりと検証しながら、有料化実現に向けて検討を深めていきます。 なお、有料化の際には、市役所来庁者への一定時間無料化や民間事業を圧迫しないよう、また、24時間利用可能な料金体系とするなど、併せて検討します。

<p>3</p>	<p>大阪大学箕面キャンパス跡地について、相手と活用策が決まってから住民説明をするのではなく、市としての跡地の活用や環境保全の基本的な考えを住民に説明し、住民の声をしっかり聞いて活用を進めるべき。</p>	<p>跡地の環境保全の対応については、周辺の住環境との調和が図れるような誘致を行っていく方針であり、その旨を今後、事業者を公募する際の募集要項にも記載する予定です。</p> <p>また、跡地活用の検討にあたっては、これまで市議会議員や地域の各種団体等からもさまざまなご意見、ご要望をお聞きしており、それらを念頭に置きながら検討を進めています。</p> <p>なお、今般公表した「（仮称）箕面市新改革プラン（素案）」において、大阪大学箕面キャンパス跡地を「有効活用（貸付）または計画的に売却するもの」のひとつとして掲げていますが、地域の活性化等に資するものを貸付や一部売却等の手法により誘致するというこれまでの方針に変更はなく、市有財産の活用の観点から貸付や一部売却により財政効果が見込まれるため、プランに掲載しているものです。</p>
----------	--	---